

平成26年北九州港・北九州空港の利用状況

■北九州港の貨物取扱量について

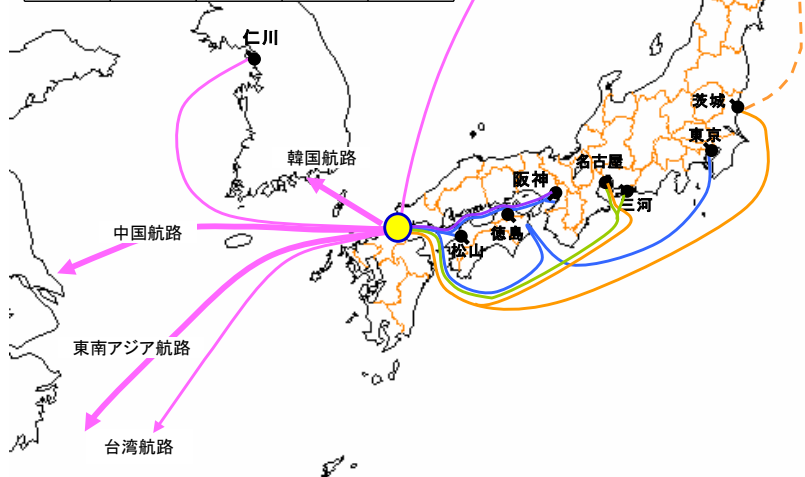
海上出入貨物取扱量は、前年比99.6%で、2年続けて1億トンを超え、全国第5位の取扱量となっています。

■北九州港の航路について

北九州港は、周防灘から関門海峡、そして洞海湾、響灘までの広範囲にまたがる国際拠点港湾となっており、中国をはじめとする成長著しいアジア諸国と日本とを結ぶ重要な役割を果たしています。

◇国際コンテナ航路

国名・地域	国際コンテナ航路	
	太刀浦コンテナミナル	ひびきコンテナミナル
	航路数	便数/週
東南アジア	8	8
中国	10	11
台湾	4	4
韓国	13	20
ロシア	1	0.25
計	36	43.25



◇国際フィーダー航路 (2015年4月現在)

船会社	行き先	発着	便数	備考
西日本内航フィーダー	神戸	太刀浦	1便/週	
井本商運	神戸	太刀浦	3便/週	
鈴与海運	神戸	太刀浦	2便/週	
	神戸、大阪	太刀浦	2便/週	

◇フェリー航路

船会社	行き先	発着	便数	備考
名門大洋フェリー	大阪	新門司	1.4便/週	
阪九フェリー	泉大津	新門司	7便/週	
	神戸	新門司	7便/週	
				関西方面計 2.8便/週
オーシャントランス	東京・徳島	新門司	7便/週	
松山小倉フェリー	松山	小倉	7便/週	

◇RORO船航路

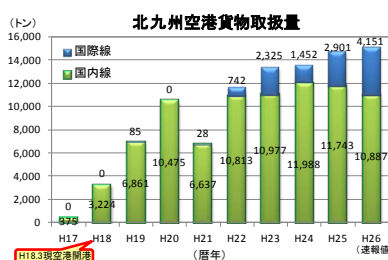
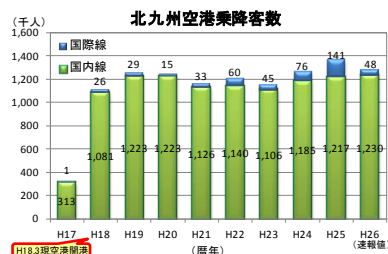
国内RORO				
船会社	行き先	発着	便数	備考
川崎近海/三菱化学	常陸那珂	日明	2便/週	
トヨフジ海運	名古屋	新門司	不定期	
トヨフジ海運	千葉・横浜	新門司	不定期	
フジトランス	横浜	新門司	不定期	

出典:北九州市港管理者調べ

■北九州空港の利用状況について

国内線の乗降客数(約123万人)及び貨物取扱量(約15万)は、過去最高となっています。

平成27年3月には名古屋路線(FDA)が就航、7月からは早朝深夜便に対応した北九州空港と福岡市天神を結ぶリムジンバスの運行が開始されます。

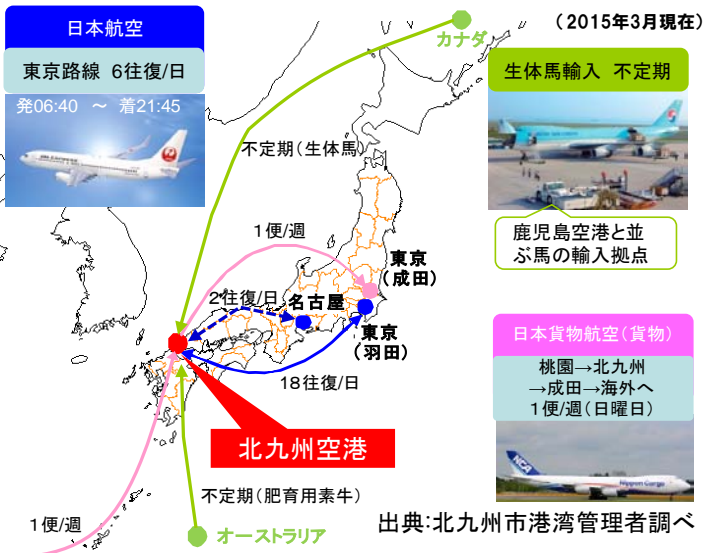


出典:空港管理状況調査書

スターフライヤー
東京路線 11往復/日
(ANA共同運航10往復/日)
発05:30 ~ 着24:35

日本航空
東京路線 6往復/日
発06:40 ~ 着21:45

フジドリームエアラインズ
名古屋路線 2往復/日
(2015年3月就航)
着08:40 ~ 発20:10



生体馬輸入 不定期

鹿児島空港と並ぶ馬の輸入拠点

日本貨物航空(貨物)
桃園→北九州
→成田→海外へ
1便/週(日曜日)

出典:北九州市港湾管理者調べ

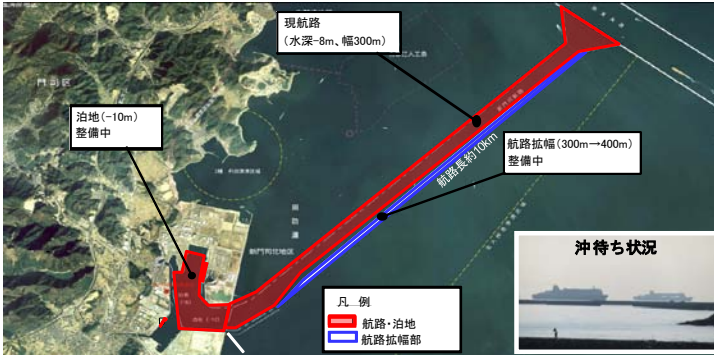
新門司地区の航路整備と就航フェリーの大型化が進展中

新門司地区は、西日本最大級の内航フェリー基地で、関西・関東方面へ1日5便運行されています。また、自動車をはじめ、生活用品・自動車部品・建設資材等の物流拠点となっており、日々、多くの大型船が往来しています。

ところが、航路の幅が狭いため大型船が行き交うことができず、これまでは一方の船が沖合で入港待ちをする“沖待ち”が発生するなど、運航の支障となっていました。

これまでに水深8mの航路幅200mを300mに拡幅する浚渫工事が平成25年度に終了し、暫定供用しています。現在、引き続き400m幅への拡幅工事を実施しており、400m幅への拡幅終了後は、水深10mへの増深工事を計画しています。

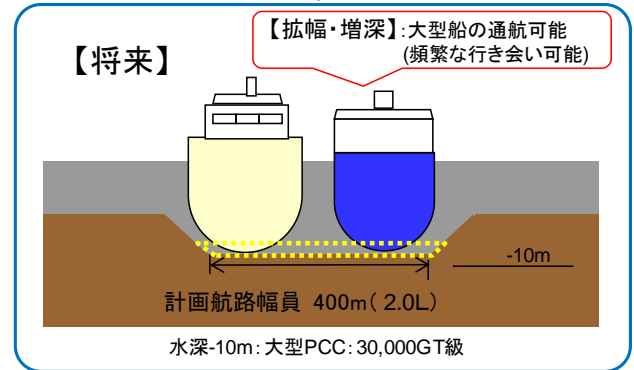
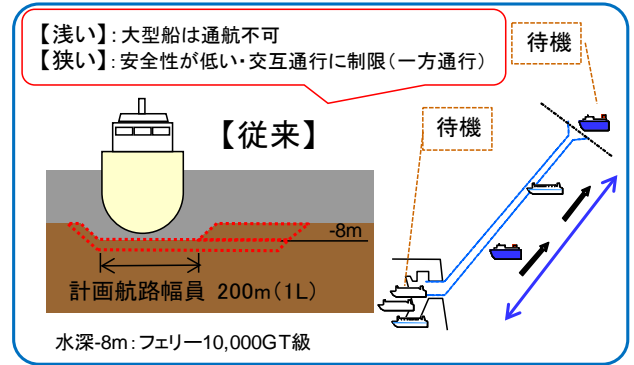
一方、新門司地区と関西・関東を結ぶフェリーは、12隻あるうち8隻が平成27年から28年にかけて大型化し新造リプレイスする計画が進展しており、現在までに2隻が就航しています。



新門司地区の航路整備範囲



H27.1.22 就航の阪九フェリー(株)の新造船「いずみ」

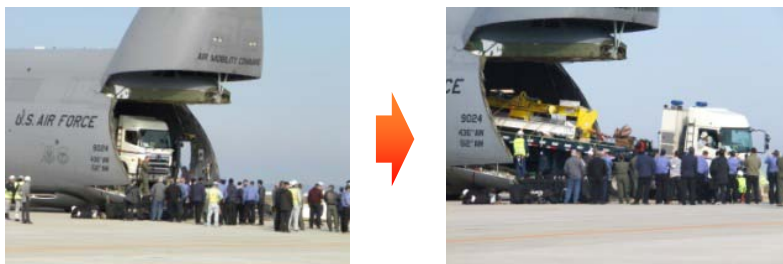


北九州空港の平成27年度の整備概要

国際定期貨物航空便の貨物機の大型化や長尺・特殊貨物といった需要に対応するため、ノーズオペレーション用地を備えたエプロン(飛行機の駐機場所)の新設に着手し、平成28年度の完成を目指します。



エプロン新設予定地の現況写真



H25.11.24、アメリカから空輸された人工衛星をノーズオペレーションで搬出する様子。

大型貨物機のノーズオペレーション(機首からの搬出入)には、搬出入用の作業ヤードが必要になることから、専用エプロンを設けることにより、大型貨物機の搬出入作業の効率化と作業の安全性が向上します。

【発行】 国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所
801-0841 北九州市門司区西海岸 1-4-40 Tel: 093-321-4632 Fax: 093-322-1007